

2024年度も「であい・つながり・ともに生きる」をテーマに6名のスタッフでがんばっていきます！

「隣保館長として4年目となりました平良友紀です。2003年5月の開館から22年を迎える今年度、より一層充実した館として、みなさまに親しんでいただける交流の場になるよう、すすめてまいりますので、引き続きご理解、ご支援をお願いいたします。」

「4月より住民生活課から隣保館に勤務することになりました加藤拓二です。主に、事務全般を担当いたします。ご来館のみなさまに一日でも早く覚えていただけるよう、積極的に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します！」

「教育事業全般を担当しています松尾甚吾です。隣保館での勤務も3年目となりました。引き続き、みなさまとのつながりと子どもたちの笑顔を大切に取組んでまいりますので、今年度もよろしくお願い致します。」

「社会教育指導員・人権教育担当として勤務しています古市忍です。隣保館も2年目となり、ご来館者のみなさまと色々な話ができることを日々嬉しく感じています。今年度も、よろしくお願い致します。・同じく、指導員の山崎真由子です。今年度もいろいろな場面で、みなさまとお出合いできることを楽しみにしていますので、どうぞ、よろしくお願い致します。」

・就労担当職員の酒井吉幸です。引き続き、就労担当をいたします。安定就労に向けて、ハローワークと連携を図りながら取組んでいきます。ご相談のある方は、来館前にお電話でお問合せください。今年度もよろしくお願い致します。

2024年度の隣保館もよろしくお願い致します！

☆2024（令和6）年度の「豊郷町地域総合センター・隣保館運営委員会」を4月中に書面会議にて開催いたします。今後1年間の隣保館の運営方針（案）や事業計画（案）について運営委員のみなさまに承認いただいてから、隣保館主催の各種講座や教室などをすすめてまいります。今年度も、各種講座やイベントなどを通してみなさまの笑顔が集まる隣保館にしていきたいと考えております。

「隣保館があって良かった」と感じていただけるような場面をより多くつくりだせるように取組んでいきますので、どうぞよろしくお願い致します。

各種講座&教室、またイベントなどのくわしい募集案内と申込用紙は、開催時期にあわせて配布いたしますのでその際にはぜひ、お申し込みください。みなさまのご来館をお待ちしています！

2024（令和6）年度「隣保館運営委員会」を書面会議にて開催します。

「滋賀県水平社」は、京都市で「全国水平社」が創立された2年後の1924年4月18日、甲賀郡（現・甲賀市）の厳浄寺で結成されました。そこには、当時、部落解放運動に尽力されていた三ツ池の藤本晃丸（ふじもとこうがん）さんを始めとする犬上地区からの参加もありました。創立100周年を迎えた4月18日（木）・19日（金）の2日間、「しが部落史研究会」の主催で記念集会在開催されました。集会には、県内を中心とする約100名が集まり、郷土史研究家の武田一夫さん（76歳）による記念講演や朝鮮半島出身の仏教者で解放運動の活動家、故・朝野温知（あさのよしとも）さんを振り返る講演もありました。武田さんが語られた「今も差別は残っている。100年前の人々が願った世の中に今を生きている私たちがいかなければ！」という言葉が印象的でした。

・朝野温知さんの娘である早川さんが亡き父への想いを語ってくれました。



「滋賀水平社創立100周年」を記念した集会在近江八幡市婦人会館で開催されました

「春休み・小学生と保護者のための防災体験教室」

3月27日（水）、8時30分から小学生および保護者のみなさん、計15名で「京都市市民防災センター」へ出かけました。「小学生のための防災体験教室」は、『近年頻発する自然災害と防災に関する様々な知恵や知識を学び、身近に存在する危険を体感することで防災に関する関心を高めるとともに、災害時に生きぬく力を身に付ける』が目的となっています。今回の体験教室も、普段なかなか体験できない「地震体験」や「強風体験」を通して、万が一、震災が起こった時にはどういった行動をとる必要があるのかなど、具体的に学ぶことができました。



日栄小あおぞら学級&豊郷小ひまわり&くすのき&そよかせ&あおぞら学級



今月は、4月にピッタリの手紙がなカレンダーです。あおぞら学級は、美味しそうなフルーツと桜の花びら、ひまわり&くすのき&そよかせ&あおぞら学級は校舎を真ん中に、つくしもいますね。どちらも「入学おめでとう」と、新しい友だちを歓迎する想いも込められています。

